

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

佐賀県 杵島工業用水道企業団

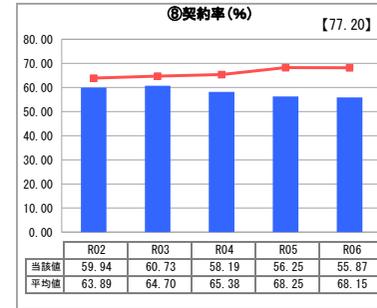
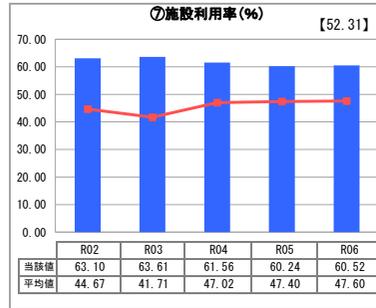
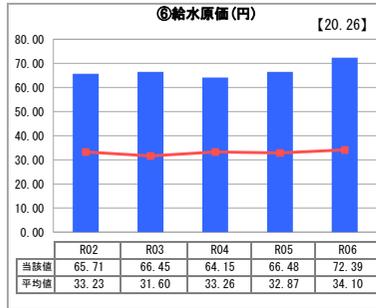
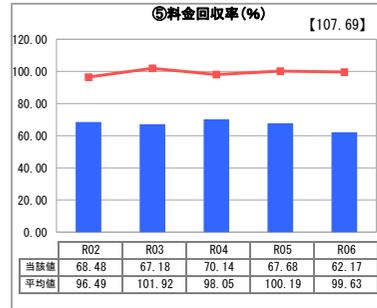
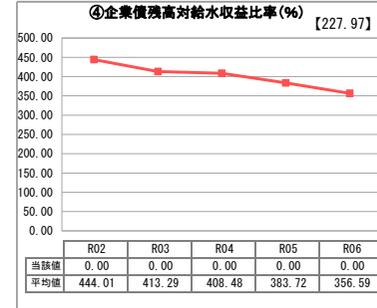
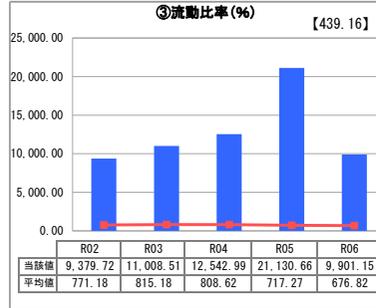
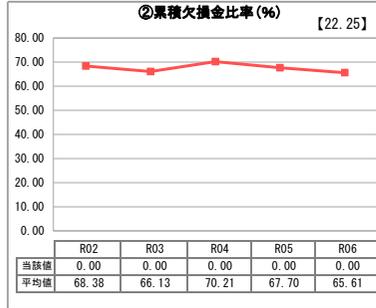
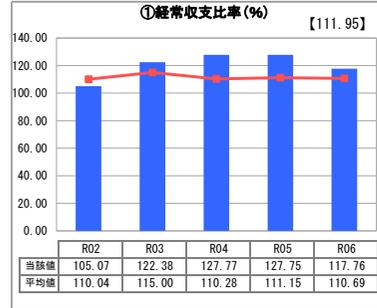
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	10,000	小規模	1	6,052
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	99.4	13	5,587	その他	

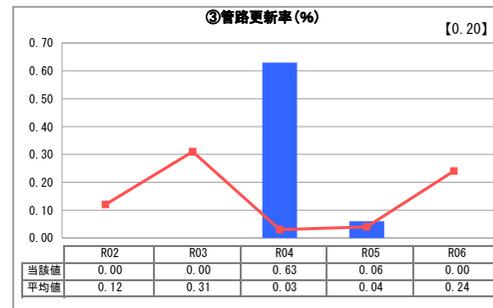
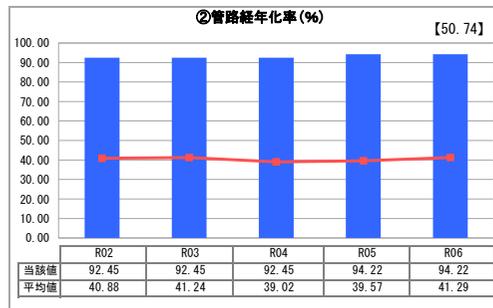
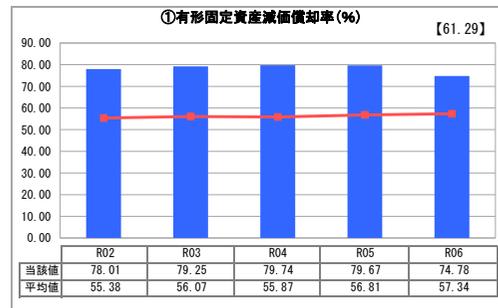
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

前年度に比べ給水量が減少したことで料金収入においては減収となった。また費用面で動力費、委託料、資産減耗費等の営業費用が増加し経常収支比率及び料金回収率は減少した。累積欠損金はなく、流動比率も100%を大きく超えており、毎年十分な支払能力を有していることから経営状況については健全な状態である。

効率性の面では、施設利用率は全国平均値や類似団体平均値に比べ高い状況であり、適切な規模で効率的に施設が利用されていると考えられる。給水原価は人件費や減価償却費等の固定的経費の割合が大きいため毎年高い数値で推移している。契約率についても平均を下回り低い数値である。引き続き未売水の解消に向け、関係団体の積極的な企業誘致や既存企業の更なる水利用の拡大を図り収益の確保に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は高い数値で推移している。資産に占める送・配水管の割合が大きく、老朽化が進んでいると考えられ、計画的に更新を実施していく必要がある。

管路経年率は法定耐用年数を経過した管路を多く保有しているため高い傾向が続いている。管路更新率は年度により数値にばらつきを生じており、令和6年度は0となっている。危険箇所や管理困難箇所等の優先順位を考慮し計画的に更新に取り組んでいく必要がある。

全体総括

現状の分析において、財政面の健全性は確保されていると考えられる。

当企業団においては施設の老朽化への対応が緊要の課題であると考え、現在、令和5年度から取水・送水ポンプの更新及び中央監視装置の改修を実施している。

今後も送・配水管路をはじめ、その他の施設についても計画的に更新に取り組むとともに給水収益による安定した財源の確保、経費の節減に努めながら健全で効率的な事業運営を図りたい。